

文星芸術大学附属高等学校創立百周年記念式典が終りました。参列した来賓の方々から、生徒の態度がたいへん立派であり、また附属高校の和太鼓部の演奏と女子校の合唱がとても良かったとお褒めの言葉をいただきました。こうした立派な式典や演奏ができたことも、生徒のみなさんの日頃のご努力と、保護者の皆様の愛情の賜物と思ひ、心から感謝いたします。



学校法人宇都宮学園理事長 上野 孝子

この百周年の式典を新たな節目とし、文星の名が付く中学校から大学・大学院までのすべての学校がよりいっそう発展することを祈っています。

さて、今年の三月十一日の東日本大震災では、大きな地震や津波で多くの方々が大きな被害を受けました。またそのあとには、原子力発電所の事故による放射能の問題など、私たちの生活にたくさん大きな苦しみが降りかかってきました。私たちは、この苦しみに勇気をもって立ち上がらなければなりません。

ふりかえてみると、大正十二年の関東大震災では東京を中心に多くの人の生命を失いました。また戦争では若い男性が数多く戦死し、空襲により多くの市民が亡くなりました。広島・長崎に投下された原子力爆弾でも大きな被害を受けて、今でも後遺症に苦しむ人がたくさんいます。

私たちは、こうしたたくさんの方々の大きな苦しみを乗り越えてきました。日本人全体の勇気ある行動力と知恵、辛抱強さには尊いものがあると思います。三月十一日を契機として、私たちはさらなる勇気をもって立ち上がらねばと思っています。

二十数年前、大学の仕事で北海道に行きました。その帰りに札幌の北海道大学に寄りまして。あこがれのポプラ並木の通りを通って、やっと探してクラーク博士の碑を見つけました。それは目立たなくひっそりとした所にありました。博士の「Boys, be ambitious(青年よ、大志を抱け)」という言葉とは、百年以上たった現在も、青少年の心の希望になつていきます。

青少年が志を高く持つことは大切なことです。夢と希望を持つて前進し、果てしなく広がる大地を駆け抜ける馬に乗るが如く、まっしぐらに突き進んでいってほしいと思います。

校訓の三敬精神と先生方の教えを大切に、一つ一つのことをきちんと身につけて、前向きに前進していくことを心から願っています。

みなさんは原石のままの宝石です。磨けば美しい宝石になります。努力してください。

くれぐれも健康に気を配り、周りの人々に感謝を



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。



しながら前進していただく。夢と希望、それを忘れないでください。みなさんの幸運を心より祈ります。

中学校行事予定

▽一月

10日(火) 第三学期始業式
課題整理テスト(一・二年)
11日(水) 前期学力診断テスト(三年)
11日(水) 13日(金) スキー教室(一・二年)
12日(木) 中大連携授業(三年)

13日(金) 生徒臨休(三年)
16日(月) 学校長講話
21日(土) 総合的な学習
28日(土) 第三回入学試験

▽二月

2日(木) 後期学力診断テスト(三年)
4日(土) 学力推移調査(一・二年)
8日(水) 学習会(三年)
17日(木) 立志式(二年)
18日(土) 授業参観
20日(月) 学習会
23日(木) 予備式・予備会
25日(土) 学年末考査
25日(土) 総合的な学習

高校行事予定

▽一月

10日(火) 第三学期始業式
11日(水) 12日(木) 前期入学試験(生徒臨休)
13日(金) 大学入試センター試験
受験者激励会
14日(土) 15日(日) 大学入試センター試験
16日(月) 校内漢字テスト
25日(水) 27日(金) 学年末考査(三年)

▽二月

2日(木) 後期入学試験(生徒臨休)
18日(土) 新入生一日入学
20日(月) 予備式・予備会
29日(水) 第三学年修了式
同窓会人会式

- 1p <巻頭言 理事長より>
- 2p <高校 雄飛祭・秀文杯体育大会>
- 3p <高校 輝け!!文星健児>
- 4p <中学 雄飛祭・ハイキング>
- 5p <中学 体験学習・文星散歩道⑦>
- 6p <文星フォトギャラリー>

高等学校

生徒会から

こんにちは!


 生徒会長
岡本 源二郎
(英進科三年四組)

こんにちは。生徒会長の岡本源二郎です。私たち三年生はまもなく卒業です。生徒会活動はもうすぐ後輩たちへのバトンタッチが近づいてきています。月日が経つのは早いものです。

今年の雄飛祭は、雨になってしまいかもしれないという心配もあったので、家でひそかにてるてる坊主を作り、天に祈ったところ、何とか持ちこたえてくれました。

まず、オープニングセレモニーで行われたミスコン。記念すべき第二回大会は十名を超える参加者が集まりました。そのどれもがクオリティーが高く、もしかしたらその辺の女子高校生よりも女の子らしかったのではないかとも思えました。中には私のタイプも……。恐るべし男子校。そんな中、見事グランプリを受賞したのは、ほぼネタで出場したと思われた柔道部員でした。

グランプリおめでとうございます。これがきつかけで道を踏み外さないようにしてほしいです。

今回は生徒によるバンド演奏などはありませんでしたが、ビュッ大会が実施されました。予想以上に当選者が多数だったのでびっくりしました。景品がまだ手元に届いていない人もいると思いますが、もう少々お待ちください。

また、雄飛祭のテーマ「道標(みちしるべ)」を考えた普通科総合コース三年の館野翔さん、雄飛祭のポスターを描いた普通科美術デザインコース三年の辻正朗さんの表彰がありました。お二方ともに、雄飛祭をより鮮やかに彩ってくれました。テーマもポスターもとても評判がよかったです。

そして、日曜日の一般公開。微妙な天気でしたが、無事開催することができました。まず、入場門には黒地に黄色で「百周年雄飛祭」と書かれ、白い羽根と金色の星たちのデザインが、文星をスマートに表現し、皆さんをお出迎えしていました。安部先生の像も心なしかいつもより輝いて見えました。野外ステージでは、和太鼓からスタートし、クオリティーの高いバンド演奏などが続き、大いに盛り上がりしました。先生方で結成さ

れていたバンドもあり、中でも坂巻先生のサクソはかつこ良すぎて生徒より目立っていました。

本館前の広場では、吹奏楽部の演奏が行われ、アンコールでは、保護者の要望に応じて、応援でおなじみの「闘魂」なども演奏していました。

今年は初の試みとして来場者の皆さんの投票によって「露天大賞」を決めました。食品催事の部では、三年五組の「やつくんハウス☆」が、展示・企画の部では、「NK D31 1-4 総選挙」が見事大賞に輝きました。

今年は三月十一日に東日本大震災がありました。被災地では今も元の生活を取り戻すことはできていません。このような状況で自分たちが盛り上がることに抵抗感もありました。今できることは何だろうと生徒会で考え、雄飛祭で募金活動を行いました。総額25,027円の義援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

最後に、お忙しい中、雄飛祭にご来場してくださった中学校・高校の保護者の皆様並びに地域の皆様へ感謝申し上げます。皆様の力をお借りして、記念すべき百周年の雄飛祭を成功させることができました。ありがとうございました。

創立百周年記念式典

十一月六日(日)に、本校体育館において創立百周年記念式典が挙行された。

本校は、明治四十四年(一九一一年)創立者上野安紹により「宇都宮実用英語簿記学校」として開校された。数回の校名変更を経た後、平成十五年に現在の校名に改称され、今年百周年を迎えた。

式典に先立って、同窓会より記念品の大型バスの贈呈式が校庭で行われた。

また、式典終了後には、本校和太鼓部による演奏と文星女子校合唱部の生徒による演奏があり、式典に彩りを添えた。

クラスTシャツ
デザイン賞

PTAのご厚意で、創立百周年を記念して全クラスTシャツを制作しました。雄飛祭や体育大会では、クラスの団結心を高め、大いに盛り上がりしました。

《学校長賞》 一年十二組
《PTA会長賞》 三年十三組
《学年主任賞》 一年一組
二年九・十組
三年九・十組

秀文杯校内体育大会

十一月七日(月)に、秋晴れの空の下、秀文杯校内体育大会が行われました。スポーツがお好きな前校長上野秀文先生の御命日に行われる体育大会です。前日に激しい雨が降り、グラウンドコンディションが心配されましたが、何とか実施することができました。

恒例のムカデ競走、二人三脚、クラス対抗リレー、大縄跳びに加え、今年から障害物リレー、二〇〇m走、部活動対抗リレーの新種目が登場しました。各クラスごとに練習の成果を思う存分発揮していました。

特に盛り上がったのは障害物リレー。風船をふくらませ、お尻で割るのは見た目以上に難しいらしく、なかなか割れずに苦戦している生徒がたくさんいました。足の速さだけでは決まらない面白さがありました。また、今年から部活動対抗リレーも加わり、去年以上に盛りだくさんの内容となりました。

大縄跳びでは一〇〇回を超える大記録が複数クラスで出ました。学年トップの回数かと思ったら、上には

上がいてがっかり、ということもあったようです。三年生にとっては、これが最後の大きな学校行事。クラスで一丸となり、目標に向かうという経験は、これからの人生の大きな財産となったことでしょう。

【総合成績】

《優勝》

一学年 四組
二学年 八組
三学年 五組

《準優勝》

一学年 三組
二学年 六組
三学年 八組

【100m走】

《優勝》

一年六組 五十嵐 涼
二年八組 齊藤 雫
三年八組 鈴木 薫

【部活動リレー】

《優勝》

A組 硬式野球部
B組 テニス部

【教員リレー】

《優勝》

二学年教員チーム

【大縄跳び】

《最高回数》

一年四組 一六一回

輝け!! 文星健児 部活動報告

十月から十二月にかけて行われた、部活動の主な大会結果などを報告します。

※英 英進科
※普 普通科

テニス部

県新人戦団体制覇!!

十一月三日(木)、四日(金)に行われた県高校テニス新人大会団体の部に本校テニス部が出場した。

九月に行われたシングルスタブルスの部では、準優勝した山口優紀(普一年)選手を始め、健闘した本校テニス部。決勝戦において強豪足工大附属を退け、二十年ぶり四度目の団体優勝を果たし、十二月二十四日(土)に千葉県で開催される関東大会への出場権を獲得した。全国大会への出場を目指して頑張ってもらいたい。

卓球部

本校 3-2 足工大

澤島選手全日本選手権

県新人戦迫田小堀組4強
来年一月十七日(火)から

柔道部

県新人戦個人3位入賞

十一月六日(土)、七日(日)に行われた県高校新人スポーツ大会に本校柔道部が出場。個人60kg級で本校の徳永英典選手(普一年)、90kg級で阿美嘉晃選手(普二年)、廣澤甲如選手(普一年)がそれぞれ3位入賞を果たした。

また、十一月十一日(金)から行われた県高校新人卓球大会ダブルスにおいて、本校の迫田樹(普一年)、小堀有介(普一年)組がベスト4入りを果たした。

バスケットボール部

ウィンターカップ県予選

悔しい準優勝

十一月三日(木)に行われた全国高校バスケットボール選抜優勝大会県大会決勝戦で、本校バスケットボール部が宇都宮工業と対戦した。中盤まで宇工を追い詰めるも一歩及ばず、全国大会出場は果たせなかった。

駅伝部

県高校駅伝大会6位入賞

十一月二日(水)に行われた第64回県高校駅伝競走大会に本校駅伝部が出場。全員で順位をキープした本校駅伝部は6位でゴールし、十一月十九日(土)に開催された関東大会に出場した。

サッカー部

全国選手権大会県予選

ベスト8

十月二十二日(土)から開幕した全国高等学校サッカー選手権大会栃木大会に本校サッカー部が出場。準々決勝で強豪真岡高校に惜しくも敗退したが、県ベスト8入りを果たした。

剣道部

中部支部新人大会

個人戦坪井選手優勝!!

十一月二十五日(金)、二十六日(土)に行われた中部支部新人剣道大会に、本校剣道部が出場した。個人の部において、本校の坪井謙介選手(普二年)が見事優勝を果たした。また、団体の部では決勝戦で宇都宮高と対戦。惜しくも優勝は逃した。

関東大会結果

硬式野球部

秋季関東地区高校野球大会

一回戦

本校 0-2 健大高崎

軟式野球部

秋季関東高校軟式野球大会

一回戦

本校 0-6 前橋育英

陸上競技部

関東高校選抜新人陸上競技選手権大会

安達 卓也 (普二年)

砲丸投げ 11m 83

円盤投げ 32m 96

田代 美砂希 (普二年)

円盤投げ 32m 59

高橋 翼 (普一年)

1500m 4分13秒36

駅伝部

関東高等学校駅伝競走大会

(42.195km)

2時間23分20秒

ご声援ありがとうございました。



美術部

最優秀賞受賞で全国へ

本校美術部の大橋直生君

(美術デザインコース二年)

の作品「無重力」が、十一月に行われた第54回栃木県高校美術展で最優秀賞に輝いた。

大橋君の作品は来年八月に富山県で開催される第36回全国高校総合文化祭に出展される。

将棋部

菊地君新人戦4位入賞

十月二十二日(土)、二十三日(日)に行われた全国高校新人将棋大会県予選会に、本校将棋部が出場。本校の菊地優志君(英一年)が4位入賞を果たした。

お知らせ

来月二月二十二日(日)、栃木県教育会館大ホールにて恒例の文星ジョイントコンサートを開催します。

文星両校の総力を挙げた熱演にこうご期待!!



検定試験取得状況

第129回日商簿記検定

二級

小池 祐貴 長澤 颯汰

第123回全商電卓検定

二級

海老原佑基 内田 大貴

島田 天佑 戸崎 成也

【計算部門二級】

大方 海 岡嶋 一輝

加藤 倫平 紙本 有康

栗田 慧 小池 佑斗

小関 雄太 近藤 将太

齋藤 峻佑 栃木 哉輝

橋本 拓磨 吉成 敦

蓬田 巧己 六川 史晃

渡辺 尚樹 内田 真杜

諏訪 和真 戸野塚洗紀

【二級】 神田 圭太

第45回全商ワープロ検定

【二級】 吉池 研雄

【三級】 加藤 大夢 菅沼 啓介

大方 海 岡嶋 一輝

紙本 有康 小池 佑斗

小関 雄太 近藤 将太

栃木 哉輝 中野 壮士

吉成 敦 蓬田 巧己

渡辺 尚樹 松田 光

内田 大貴 川音 拓真

竹之内政人 増淵 佑樹

ピモンズスイーパータウイ

第105回全経電卓検定

【二級】 近藤 将太 三浦 一也

【二級】 岡嶋 一輝 加藤 倫平

吉成 敦 千葉 遼

【三級】 永田 貴規 塩沢 誠

中 学 校

雄 飛 祭

今年度の雄飛祭は大変盛り上がりしました。各クラスとも協力・団結し、一つの出し物を精一杯運営している姿が印象的でした。一般の方々の入りも盛況でした。また、PTAにおいても、毎年恒例の焼きそばの出店など、中学校全体が盛り上がり、雄飛祭となりました。

「盛り上がった雄飛祭」

中学校生徒会副会長

二年一組 田崎 穂積

十月二十二日・二十三日の二日間、中学校と高校では雄飛祭が行われました。

今年は震災の影響で節電の心配もありましたが、何とか無事に雄飛祭を行うことができた良かったです。

二十二日は、オープンニン



Open the new road(1-1)



Legend of pirates(1-2)

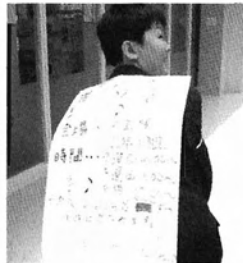


ミス(?)文星コンテスト

グセレモニーとして、生徒のみを対象とした催しが行われました。オープンニングセレモニーでは、ミス文星コンテストがあり、大変な盛り上がりを見せました。僕もミスコンに出場したのですが、出場した方々の女装のクオリティーが高く、本気の戦いに胸が躍りました。結果は三位に入ることができました。来年もぜひ出場し、優勝を目指したいと思います。



文星シネマズ(3-1)



曲をあてよう(2-1)

二十三日は一般公開ということで、雄飛祭に来て下さったお客さんに、クラスそれぞれが企画した催し物を披露しました。焼きそばやフランクフルトなどの食催やクイズや映画など様々なジャンルの催し物がありました。また、体育館前では、高校生や先生方による楽器演奏などもあり、学校全体がお祭りムード一色となりました。

若い方だけでなく、年配の方々もたくさんいらしゃって、楽しんでくださっていたので、良い雄飛祭となりました。来年の雄飛祭が待ち遠しいです。

ハイキング

毎年恒例となっているハイキングに十一月七日(月)に行ってきました。今年は筑波山でのハイキングでした。ルートはつつじヶ丘駐車場を出発し、女体山そして御幸が原にて昼食をとり、筑波山神社まででした。紅葉は始まったばかりでしたが、大自然に触れ、リフレッシュできたことと思います。生徒の感想をご紹介します。

生徒の感想

「ハイキング」

三年一組 泉 浩太郎
今回は筑波山へハイキングに行きました。例年より険しいハイキングとなり、そのために様々なことがありました。

まず上りは、一回も転ぶことなく無難に上ることができました。しかしそれで安心してしまったのでしょうか。下りは何回も転ぶことになってしまいました。転ぶのも五回目くらいからは正直怖くなってしまいました。しかしそれを乗り越え、山を下ることができたので、これにより困難に立

ち向かい、くじけずにやりきることを学びました。さらにこんなことがありました。転んでリュックが下に落ちてしまったのです。それを同級生が拾ってくれました。とても嬉しかったです。

このようなこともあり、クラスメイトとの絆も深めることができました。今回のハイキングで学んだことや得たことを今後の学校生活に生かしていきたいです。



2年生 女体山山頂にて



3年生 御幸が原にて



ダメ。ゼツタイ。

薬物乱用防止教室

十一月二十五日(金)の三、四校時に薬物乱用防止教室が行われました。今回は「劇団三十六計」のみなさんによる薬物防止に関する劇を鑑賞しました。改めて薬物の怖さを実感しました。

生徒の感想

二年一組 三浦 大輝

僕は、薬物なんて身の回りに使っている人もいないので、関係のないことだと他人事でしたが、今回薬物乱用防止教室の劇を見て、身の回りにもたくさんの危険があるということを知りました。覚せい剤には、様々な副作用があり、とても怖い物だと改めて実感しました。覚せい剤を使うと一生を棒に振ることになってしまうので、誘われてもついていかず、断るようになっていきたいです。

芸術体験

十一月十七日(木)、文星芸術大学にて、芸術体験を行いました。日程は次の通りです。

午前の部

一年一組 日本画

二年一組 染色体験

午後の部

一年二組 日本画

三年一組 漫画体験

【生徒の感想】

三年一組 島田 慧

今回の芸術体験で一番驚いたのは、僕たちが作業をしていたすぐ後ろに、ちばてつや先生がいらつしやうてくださったことです。ちば先生も、僕たちと一緒にパソコンで漫画を描く方法を教えてもらっているようでした。今回の体験で、今の技術はすごいということが分かりましたが、機械で描く漫画より



3年：ちば先生と一緒に



2年：きれいに染まったかな？

も、手書きの漫画の方が、心がもっていい良いような気がします。三年間で陶芸・染色・漫画と様々な体験ができました。またいつか文星芸大へ行きたいです。

二年一組 大槻 玲弥
今年は、藍染体験をすることができました。藍染とは、藍を染料として染めた物のことだそうです。自分たちで、布にビー玉や割り箸、洗濯バサミ等を使って模様を作り、藍の染料の中に入れて色を染めました。結構上手に作れたと思います。貴重な体験ができて良かったです。

一年二組 田中 佑樹
僕たち一年生は、芸術体験で日本画を学びました。まず、絵具を作ることから始めました。僕は一番大変な白をやりました。よく練

ると、もちみたいにおににしています。その後、柿の葉を描きました。思ったよりもうまく描けたので良かったです。美術への関心が高まりました。

一年一組 飯藤 南美

芸術体験で一年生は、日本画をやりました。最初、難しそうだなと思いました。絵具を自分たちで作ったからです。絵具は、石からとれる粉を水や「にかわ」を混ぜて作ったので、とても大変でした。でも、少しずつ慣れてきて、楽しみながらできました。そのほかにも、たくさんさんの経験ができて本当に良かったです。



1年：日本画に挑戦！良い作品ができました

英語スピーチコンテスト

十月二十一日(金)、宇都宮市教育センターにて宇河地区英語スピーチコンテストが行われました。

優秀賞

「For my dream」
一年 井上 友貴

「What I can do myself now」
二年 田崎 穂積

優良賞

「First step for adulthood」
三年 佐藤 森吾

各種表彰関係

第五十七回全国青少年

読書感想文(宇河地区)

優秀賞 井上 友貴(二年)
佳作 島田 慧(三年)

第四十四回下野教育書道展

金賞 酒井 貴寛(二年)
銅賞 渡辺友加里(二年)
奨励賞 須藤 直暉(二年)

税についての作文

宇都宮県税務所長賞
唐澤 初奈(二年)

第二十七回高円宮杯

日本武道館書写書道

大会奨励賞

北條 泰崇(三年)

第四十六回弘法大師奉賛

高野山総長賞
高野山読書大会
北條 泰崇(三年)



文星散歩道

(題字 大木教頭)

⑪ 守・破・離

山本 誠 一(保健体育科)

武道には、稽古を積み重ね、すなわち修行における順序を表す言葉・伝統を受け継ぐ者にとって忘れてはならない教えがあります。その中の一つに「守・破・離」という言葉があります。

「守」というのは、師の教えや決められたことを徹底して学びとり、それを繰り返して学習し続け、基礎・基本的なことを確実に身につけることをいいます。そういう意味では、学校で生活することは、まさに「守」の段階にあると言えるでしょう。しかし、スポーツをしている人な

どにとってはまだまだ「守」の段階が続くと思います。「破」というのは、師にしっかりと教えられたことから一歩飛び出せということですから、いままでの教えを基礎とし、自分でいろいろ試行錯誤を繰り返しながら、自分の知能や個性を発揮して次第に自分のものを創造する時代でもあると思います。

私は、約三十七年間、剣道を続けて来ましたが、本当に残念ですが、「守」「破」の段階から抜け出せず、まだまだ修行が足りない気がしています。

「離」というのは、それらの段階を経て、あるいはそれらを全て忘れて、何事にもとらわれることなく、自分自身の独自の世界を確立することです。まさに「離」とは自分の研究の集大成だと思っています。私も時間がかかるかと思いますが、自分なりに「離」に近づけるようにしたいと思っています。

「守・破・離」の精神は、単に武道の世界だけの教えではなく、すべての世界に当てはまる言葉、また、人間の生き方すべてにとって大事な言葉であると思っています。

文星フォトギャラリー

